





総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【2月号】

クラブ名	柳井地域 総合型スポーツクラブ連絡協議会	訪問日	1月28日	訪問者	宮田 大樹
訪問詳細	<p>今回は、周防大島町にて開催された陸上教室を訪問してきました。この教室は、柳井地域（柳井市、周防大島町、田布施町、平生町、上関町）の各クラブの共催により実施されました。また、会場となった周防大島町B&G体育館の改修記念に合わせて実施され、町からの協力も得ることができました。講師を務めた田中宏昌氏は、旧大島町出身で陸上十種競技において、日本選手権5連覇、2009年アジア選手権金メダル獲得等の成績を収め、現在は、ヤマダ電機陸上競技部監督を務められています。</p> <p>教室では、小学生から高校生を対象に速く走るためのポイントを丁寧に指導され、参加者も真剣に取り組んでいました。また、十種競技について、デモンストレーションを交えながら説明を行い、トップレベルの技術に大きな歓声があがる場面もありました。参加者からは、「丁寧に分かりやすかった」「デモンストレーションが凄かった」との声が聞かれ、貴重な経験ができたようです。</p>		 		

クラブ名	佐山コミュニティ スポーツクラブ	訪問日	1月28日	訪問者	岡村 睦美
訪問詳細	<p>今回は、山口市で活動している佐山コミュニティスポーツクラブ主催事業である「3世代交流ボウリング大会」へ伺いました。ボウリングは、激しい運動というイメージはありませんが、実は結構な運動量があり、生活習慣病などにも効果があると言われています。子どもから高齢者まで気軽に楽しむことができ、多くの方に親しまれています。</p> <p>このボウリング大会は交流も目的として開催されています。佐山地区のシニアクラブの方の参加が多く、グループ分けでは世代の関係なく組まれていました。シニアの方が投げ方を教えたり、ストライクやスペアをとるとハイタッチや拍手をしてみんなで喜んだりと目的である交流はしっかり図れていました。このイベントに毎回参加している方が多く、また開催してほしいとの声も出ており、参加者が楽しみにされているのが伝わってきました。</p> <p>世代間で交流できる機会は少なくなっていると思いますが、総合型クラブだからこそ、このようなイベントを実施することができるのではないかと感じました。</p>		 		



☆レッツ！オリ・パラ☆

オリンピック聖火リレーは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役割を持っています。一方、パラリンピックの場合はイギリスのストーク・マンデビルと、開催国内数か所で聖火フェスティバルを行い、開催都市に集火して聖火リレーを行います。

最初のパラリンピック聖火リレーは、1988年ソウル大会で実施され、このリレーのルートは105km、合計282人のランナーが聖火トーチを運びました。パラリンピック聖火リレーでは、聖火は皆のものであり、あらゆる個人・団体・都市のサポートメッセージが集まって、炎を灯すエネルギーとなるという発想に基づいて運営され、オリンピックからの移行期間中に勢いや興奮を維持し、人々にパラリンピックの精神及び価値を伝える役割も持っています。

東京大会では、どのような聖火リレーになるのか楽しみです。

2020年
東京オリンピックまで

877日

※平成30年 2月28日現在